

飯島市長 任期満了により退任

飯島市長は、平成2年7月に当時伊奈町長に就任され4期16年、平成18年3月に誕生したつくばみらい市の初代市長に就任し、新たな市の舵取りにリーダーシップを発揮し、4年間の任期を全うされ5月13日に退任されました。

市役所で行われた退任式では、合併から今日までを振り返り「今日までやってこれたのも、市民の皆さんの支援や職員の協力があったもの。今後、新しい市長の下、つくばみらい市の発展のため、職員一丸となって頑張っていきたい」と退任のあいさつがありました。

退任式の後、市役所玄関において、市民の皆さんや市職員らの多くの拍手に送られ市役所を後にされました。長い間、お疲れさまでした。

退任あいさつ

前市長 飯島 善

私は平成18年3月に、従来から地域的・経済的な結びつきが深かった旧伊奈町と旧谷和原村が合併し、新たなまちづくりを目指し誕生した「つくばみらい



市」の初代市長として、市民の皆さんの温かいご支援とご協力を賜り、一期4年の任期を務めさせていただきました。

新市の行政運営にあたっては、合併後の速やかな一体性の確保と公正・公平な市政運営を信条として、高度多様化する住民ニーズに対応するため、本市の将来像を「活力に満ちた、うるおいとやすらぎのまち」と定め、市民一人ひとりに優しく、地域に愛着と誇りを持ち、そして安全で安心して住み続けられる活力あるまちの実現に向け取り組んできました。

その具体的な施策としては、計画的に土地利用を進めるための地籍調査、市内道路網のアクセス強化を図る道路整備や交通渋滞緩和のための生活道路整備に着手するとともに、コミュニティバスやコミュニティ施設の整備など都市基盤の整備に努め

てきました。

また、安全なまちづくりを推進するため、みらい平駅前交番の誘致や小絹駐在所の移転などを実現させ、防犯対策の強化にも取り組まれました。

さらに児童クラブの新設や幼保一体型施設の整備に着手するなど、子育て支援を積極的に進めてきました。そして介護予防や生きがい対策、健康づくり事業などの推進を図り、市民の皆さんが「つくばみらい市に住んでいて良かった」と実感していただけるまちづくりに、誠心誠意取り組んできました。

今後は、一市民として、つくばみらい市の一体感の醸成がさらに進むことを願っています。

終わりに、市民の皆さんのご健勝とご多幸をお祈り申しあげるとともに、心から感謝とお礼を申し上げ退任のあいさつといたします。

「ありがとうございます！」

防犯ブザー 交通安全帽子 ランドセルカバー



防犯ブザー、交通安全帽子、ランドセルカバーが、私たちを交通安全から守ってくれます！

●(株)常陽銀行

地域貢献活動の一環として、安心して生活できる地域社会づくりに少しでも貢献したいとの願いと、児童一人ひとりの防犯意識の向上に役立ててほしいとの思いにより、市内小学校（小張小・豊小・谷井田小・三島小・板橋小・東小は新1年生、谷原小・十和小・福岡小・小絹小は新4年生）に対し、「防犯ブザー」を寄贈していただきました。

●やわら

ライオンズクラブ

市内小学校（谷原小・十和小・福岡小・小絹小）の新1年生に対し、「防犯ブザー」を寄贈していただきました。

●茨城みなみ

農業協同組合

市内全小学校の新1年生に対し、「交通安全帽子」を寄贈していただきました。

●常総地区

交通安全協会

市内全小学校の新1年生に対し、「ランドセルカバー」を寄贈していただきました。